

岩手県盛岡市

伝統工芸品の新たな価値を創造し、国内外への積極的な販路開拓に取り組む

伝統工芸品「南部鉄器」を核に、現代の生活に寄り添った新たな価値を創造し多角的に事業を展開。①現代の名工で同社技術顧問の田山和康氏の作品を海外へ販売する伝統工芸事業②若手職人が手がける「あかいりんご」の製造・販売や南部鉄器のイベント企画・運営を行うライフスタイル事業③地域振興等を目的としたshop&cafeの運営を行う場づくり事業等、今までの伝統工芸品の「売り方」の概念に囚われないチャレンジを続けている。

●所在地	岩手県盛岡市中ノ橋通1-5-2 唐たけし寫場1階	●設立	2013年
●電話/FAX	019-691-9161/019-601-2141	●資本金	300万円
●URL	https://www.tayamastudio1.com/	●従業員数	13人
●代表者	代表取締役 田山 貴紘		



需要獲得

ものづくり

高付加価値な南部鉄器の輸出

同社の南部鉄器の輸出先の多くは東南アジアであり、数年待ちの商品もある。しかし、競合他社も海外展開に取り組んでいるため、同社の高度な技術でしか製造し得ない「和銑」を使用した鉄瓶の商品開発で差別化を図り、さらなる企業ブランディングに努めている。また、職人を含め英語・中国語での対応が可能という同社の強みを活かし、海外展示会等へ積極的に参加して商品価値を直接PRする等、販路開拓に取り組んでいる。



「現代の名工」田山和康氏の作品

南部鉄器を核とした地域活性化の取組

地域資源の南部鉄器の裾野を広げるべく、高価格商品が主力である伝統工芸品事業と、伝統技法を活かしつつ現代のライフスタイルに合った鉄瓶を提案するライフスタイル事業を分離し、各事業で南部鉄器のブランディングを行っている。また、海外・全国展開を積極的に行う一方、岩手が誇る南部鉄器に対する地元での理解が十分でないとの危機感から、地元の展示施設や商業施設でのワークショップも開催している。その他、同社が運営するshop&cafeでは、自社商品のPRだけでなく、岩手県盛岡市の観光資源を国内外へPRする拠点とすべく計画を進めている。



地元岩手で南部鉄器のワークショップ

アフターサービス打ち出した販売戦略

ライフスタイル事業では、新たな消費者の獲得のため「鉄瓶がある暮らし」を提案。販売に際して以下4つのポイントを打ち出し、アフターサービス等を充実させることで、購買時の新たなインセンティブを付与している。①IHでも使える鉄瓶(※広報物でも敢えてIH+南部鉄器の写真を採用)②シリアルナンバーによる品質管理と顧客サポート③生涯補償(※錆びるのでは?という不安を払拭するため2回まではお直し無料)④LINEによる質問受付サービス



LINEによる質問受付サービス